

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもたちの生きる力育成事業
事業主体 (連絡先)	そらいろのたね 05036345939 sora.tane3@gmail.com
事業区分	教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,755,572 円 (うち支援金 : 1,384,000 円)

事業内容

- 子どもの生きる力の育成を目的とし、「1. 思春期支援」「2. 子どもの人権」「3. コミュニケーション力育成」に注目し、親子講座・親育ち講座・人材育成を行った。
- 1 思春期支援手養成講座 (8回シリーズ)
人形劇で学ぶ生と性
 2. 人権教育プログラムCAPおとなワークショップ
体験型安全学習 (親子)
 3. コミュニケーション力プログラム「ことばキャンプ」
インストラクター養成、親子向けことばキャンプ講座
(1) 子ども向け「人形劇で学ぶいのちと性」
(2) 親向け「親のための生と性の講座」(2回)



【思春期支援手養成講座】

事業効果

- ① 講座1
思春期支援手養成講座：全8回を行い、5回以上を受講した者を修了とし、23名が修了した(一般保護者および支援職含む)。家庭での性教育の実践に加え、地域でアドバイスできる啓発者として人材を育成できた。
親子向け人形劇：22組78人の参加があり、性に関する家庭教育のきっかけづくりとしても機会を提供できた。
- ② 講座2
CAPおとなワークショップ：72名と多数の参加を得て、子育て世代の人権意識の向上・虐待防止の啓発ができた。
体験型安全学習：科学的な研究に基づいた実践的な安全教育プログラムを長野県で開催でき、子どもたちの自己効力感が高まるとともに、地域の安全に関する意識の向上につながった。
- ③ 講座3「ことばキャンプ」
人材育成として10名のインストラクターが誕生し、長野県でのことばキャンプ講座の提供がスタートし、1～3月の3ヶ月間でのべ140組の親子に届けることができた(松本市、長野市で提供スタート)。

【目標・ねらい】

- ① 思春期支援力の向上(親、支援者)と学習機会の提供(親子)
- ② 子どもの人権侵害防止
- ③ コミュニケーション力育成のための指導者育成と講座提供体制の構築

※自己評価 【 A 】

【理由】
子育て・親育ちのニーズに応える講座を提供し多くの参加者を得た。人材育成により県内でのことばキャンプ提供体制が構築できた。

今後の取り組み

- 生きる力と自己肯定感の育成のための子育て講座・親育ち講座をより多くの親子に届ける。
- コミュニケーション力トレーニング講座ことばキャンプを、長野県で継続的に提供できる体制づくりとして、未就学児向けことばキャンプのインストラクターを養成し、より多くの子どもたちに届ける。
- 思春期支援・性教育講話の講師を養成する。
- 自他尊重の関係を築くための感情教育(感情表現や怒りのコントロール)ワークショップを開催しインストラクターも養成する。